平成30年度　百合丘高等学校 年間指導計画

教科・科目	公民・現代社会	学年	第1・3学年	教科書	実教出版 「最新現代社会 新訂版」
		単位数	2単位	副教材	実教出版「最新　現代社会　新訂版　演習ノート」

学習目標	1. 現代社会と人間について、広い視野に立って理解を深めます。 2. 現代社会の基本的な問題について、主体的に考え公正に判断する力や、人間としての在り方生き方について考える力の基礎を養います。 3. 自らの個性を発揮し、文化・福祉の向上、発展に貢献する能力と、平和で民主的な社会生活の実現、推進に向けて主体的に参加・協力する態度を育てます。
学習方法	○現代社会における諸課題としては，生命，情報，環境などを扱い、自らの問題として考える態度を育成します。 ○新聞・雑誌などマスメディアや画像、動画等の資料を活用し、現代からの視点で問題を把握し、考察します。 ○特に重要な課題に関しては、生徒の討論や発表を随時実施し、コミュニケーション能力に注目して言語活動を充実させます。

学習評価

評価の観点		科目の評価の観点の趣旨
a	関心・意欲・態度	現代社会の抱える諸問題に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追及するとともに、身近な問題として認識している。
b	思考・判断・表現	自ら現代社会の抱える課題を見出し、広い視野に立って問題を多面的・多角的に考察し、将来の社会形成者として必要な公正な判断をしている。
c	資料活用の技術	現代社会の諸問題に関する諸資料の中から有用な情報を選択することにより、問題解決につなげて活用する方法を身に着けている。
d	知識・理解	現代社会に関する基本的な事柄を、国際関係や日本社会全体との関連という広い視点に立って総合的に理解し、必要な知識を身に着けている。

学期	内容のまとまり	時数	単元(題材)	学習内容	評価の観点 a	b	c	d	単元(題材)の評価規準	評価方法
前期	私たちの生きる社会	8	地球環境問題＆資源・エネルギー問題	・破壊される地球	○			○	a地球環境問題に対する関心を高めつつ、自己とのかかわりに着目して設定した課題を意欲的に追究し、自己の在り方生き方と関連させながら考えようとしている。 b地球環境問題と資源・エネルギー問題を関連づけて考察している。 c資源・エネルギー問題について、資料を様々なメディアを通じて収集しつつ、消費・利用について多面的・多角的に考察し、表現している。 d倫理・社会・文化・政治・経済の分野に様々な観点があることを理解し、知識を身につけている。	・プリント演習 ・ノートの確認 ・定期試験
				・地球環境問題への取組み		○	○	○		
				・限りある資源とエネルギーの開発		○	○			
				・人口問題と資源循環型社会の形成	○			○		
				演習&解説による確認	○			○		
		10	生命科学と情報技術の課題＆青年期の自己形成	・現代医学が問う生死のあり方	○			○	a科学技術の発達について日頃から関心を高めつつ、科学技術の発達、遺伝子、科学技術と生命の問題を意欲的に追究しようとしている。 b学ぶことの意義、人間の幸福と科学、人間の尊厳、正義と自由の意味などについて、社会の変化や様々な立場・考え方を踏まえて公正に判断している。 c科学技術の発達、遺伝子、科学技術と生命の問題に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、学習に役立つ情報を主体的に選択して活用している。 d学ぶことの意義、人間の幸福と科学、人間の尊厳、正義と自由の意味などについて総合的に理解し、その知識を身につけている。	・プリント演習 ・ノートの確認 ・定期試験
				・遺伝子技術と生命、情報倫理		○	○	○		
				・青年期と自己の形成 ・哲学・宗教・科学と人間	○		○	○		
				演習&解説による確認	○			○		
	現代の社会と人間	10	現代の民主政治と日本国憲法	・民主主義の基本原理 個人の尊重と法の支配	○		○	○	a人権思想と近代国家の発展の歴史に関心をもち、人権尊重の視点から、民主主義の基本原理の特質を理解している。 b人権思想と近代国家の発展の歴史や日本国憲法の内容を文章などで適切に説明・表現している。 c現代の民主政治に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、学習に役立つ情報を主体的に選択して活用し、追究している。 d民主主義の基本原理やそのしくみ、基本的人権の内容について基本的知識を身につけている。	・プリント演習 ・ノートの確認 ・定期試験
				・民主政治のしくみと課題		○	○			
				・日本国憲法の制定と基本的人権	○			○		
				演習&解説による確認	○			○		
後期		12	日本の政治機構と政治参加＆現代の経済社会と国民生活	・社会権と参政権	○		○	○	a政治に対する関心を高め、民主政治における個人と国家の在り方や民主社会に主体的に生きる人間の在り方を意欲的に追究し、考えようとしている。 b経済社会における個人・企業や公的部門の経済活動から課題を見いだし、消費者、納税者としての個人の社会的責任について多面的・多角的に考察し、様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断している。 c民主政治や経済の実情に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、学習に役立つ情報を主体的に選択して活用している。 d日本国憲法の基本原則について理解を深め、その知識を身につけている。	・プリント演習 ・ノートの確認 ・定期試験
				・平和主義とわが国の安全		○		○		
				・市場のしくみ、現代の企業、金融・財政の役割	○			○		
				演習&解説による確認	○			○		
		12	日本経済の特質と国民生活	・日本経済のあゆみ	○		○	○	a現代の経済社会における個人や企業の経済活動に対する関心を高めつつ、現代の経済社会における個人、企業や公的部門の経済活動について意欲的に追究している。 b経済社会における個人や企業の経済活動の在り方について公正に判断している。 c日本の経済活動について諸資料を様々なメディアを通して収集し、その資料の中から個人や企業の社会的責任等についての学習に役立つ情報を主体的に選択して活用している。 d現代の経済社会における技術革新と産業構造の変化、雇用と労働問題、公害の防止と環境保全などについて理解し、その知識を身につけている。	・プリント演習 ・ノートの確認 ・後期定期試験
				・中小企業と農業		○	○	○		
				・労働問題と労働者の権利	○		○	○		
				演習&解説による確認	○			○		
		12	国際社会と人類の課題	・国際政治の特質		○		○	a冷戦終結後の国際政治に関する諸問題に対する関心を高めつつ、国際平和の必要性及び国際連合などの国際的な機構・組織の果たす役割について意欲的に追究し、国際社会における日本の責任と役割について考察している。 b国際経済に関する諸問題から課題を見いだし、国際的な機構・組織の果たす役割について多面的・多角的に考察し、国際社会における日本の責任と役割について社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断している。 c国際政治や世界経済に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、その資料の結果を口頭や文章などで適切に説明している。 d国際経済において、貿易の拡大や不均衡、南北問題について理解し、知識を身につけている。	・プリント演習 ・ノートの確認 ・定期試験
				・国際平和と日本の役割		○	○			
				・貿易と国際収支/今日の国際経済	○		○	○		
				ともに生きる社会 演習&解説による確認	○			○		
合計時数(55分授業)		64								